

第99期 中間期 株主のみなさまへ

2022年4月1日～2022年9月30日



Contents

トップメッセージ	01
セグメント別営業の概況	03
持続可能な社会の実現に向けて	
新たな成長軌道への取り組み	05
拡大を目指す基盤事業	07
働きがいを感じる職場環境づくりを目指して	08
株主様アンケート結果の概要のご報告	09
財務ハイライト(連結)	10
会社概要／株式の概況	裏表紙



代表取締役社長 谷口 章憲

ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを大切にしながら、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまわり、厚くお礼申し上げます。当社第99期中間期(第2四半期累計期間：2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績の概要をここにご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2022年12月

社 是

企業を通じて
よりよい社会を
建設しよう

当中間期における業績について

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や原材料・部品の供給制約が続く等依然と

して厳しい状況となりました。世界経済は、米欧は回復基調にあり、中国も景気は行動制限による下振れから持ち直しつつあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源エネルギー価格の高止まり、金融引き締めを通じ

た世界的な景気減速懸念等、先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米欧の利上げ等により急激に円安が進み、原油価格は世界的な景気減速懸念と供給不安から価格上昇下落双方の思惑が交錯し不安定な動きになる等、事業環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当中間期の売上高は、原料価格上昇に伴う販売価格の改定等により884億3千9百万円(前年同期比14.1%増)となりました。利益面では、販売

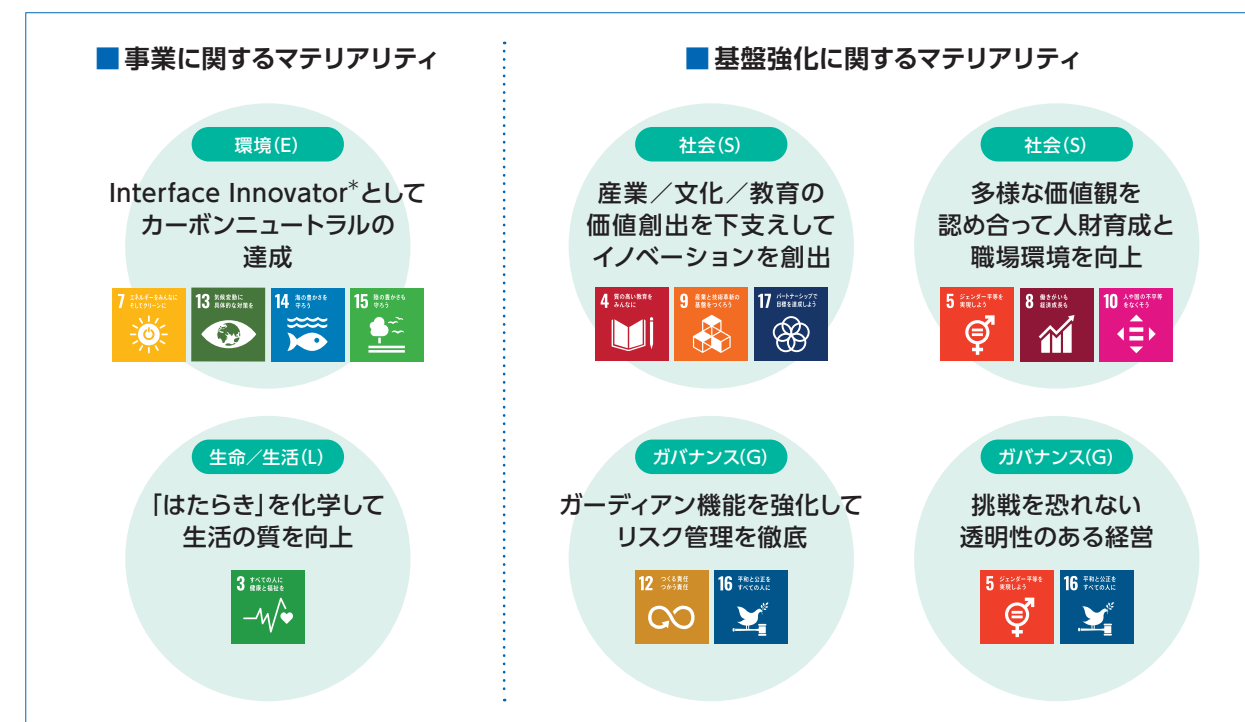
量の減少、原料価格上昇に伴う売買スプレッド縮小、販売費及び一般管理費の増加等により営業利益は39億3千2百万円(前年同期比33.6%減)、為替差益の増加等により経常利益は73億6千8百万円(前年同期比7.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億1千9百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

当社は、連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指しております。中間配当金につきましては、本年6月に実施いたしました期末配当金と同じく、1株当たり85円とさせていただきます。

三洋化成グループのマテリアリティ

2022年7月、当社グループは、社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」の理念の下、中長期での価値創造に大きな影響を及ぼす重要課題として、6つのマテリアリティを特定しました。

当社が「大切にすること」として掲げている「すべてのステークホルダーのワクワク」「環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創」「社員一人ひとりが価値の創出に貢献」を実現しながら、これらの課題に取り組みます。



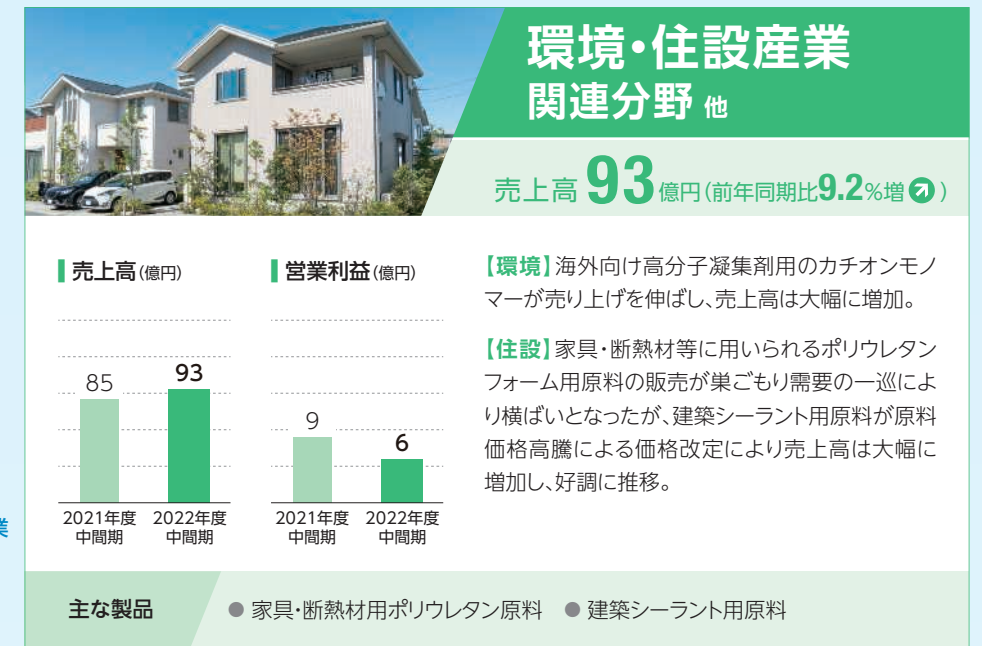
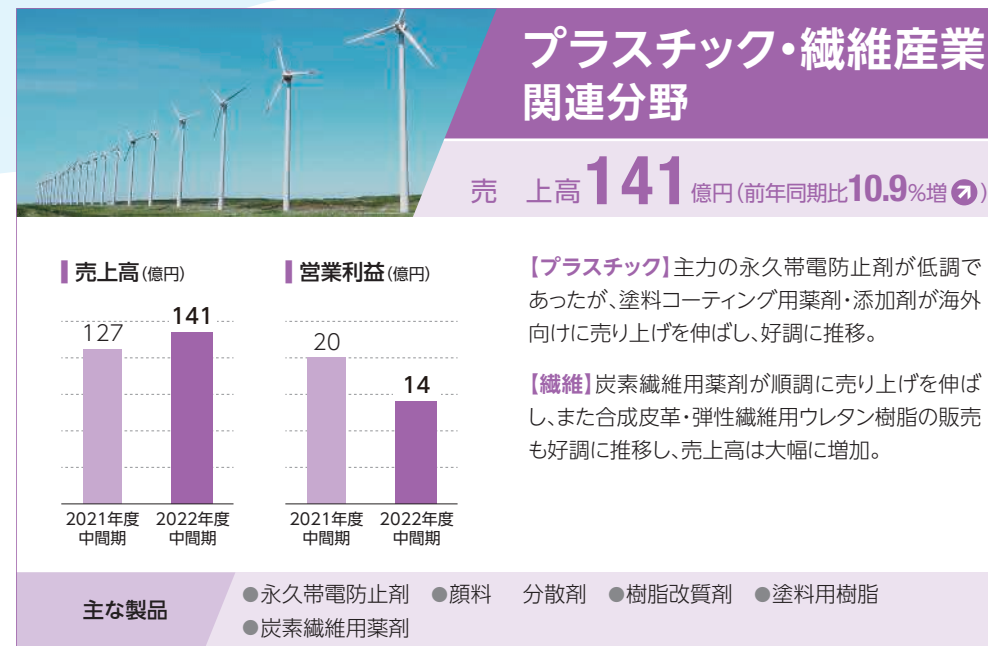
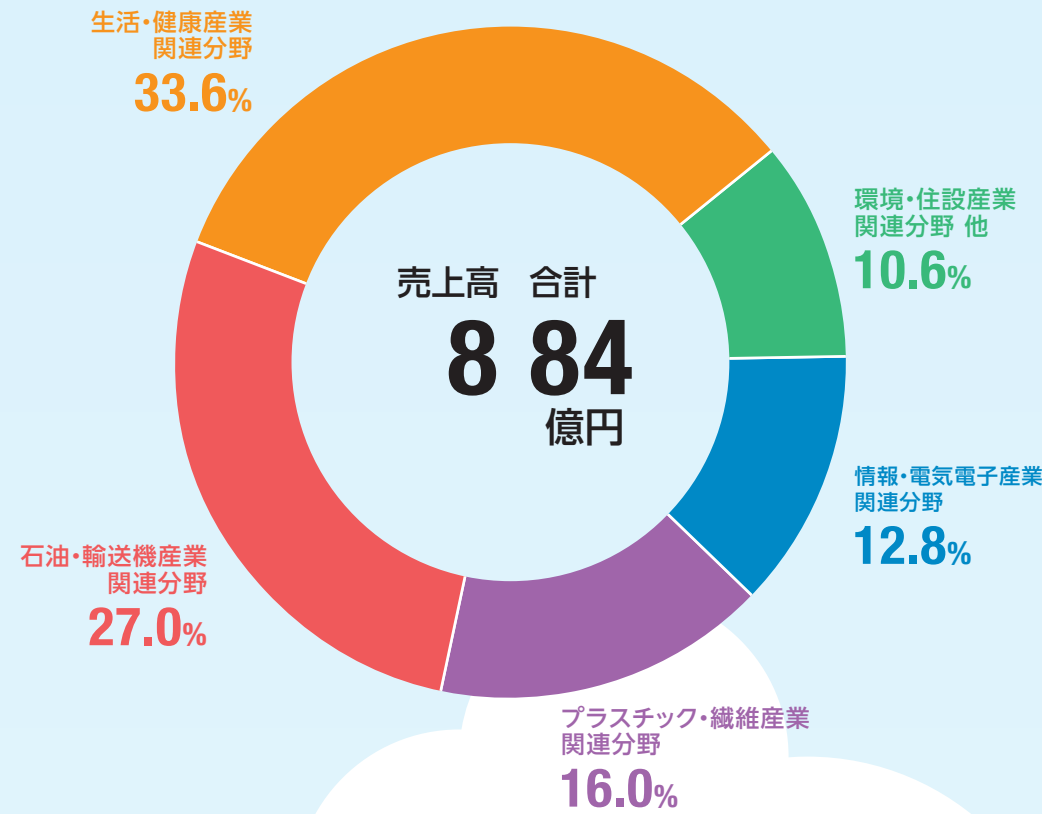
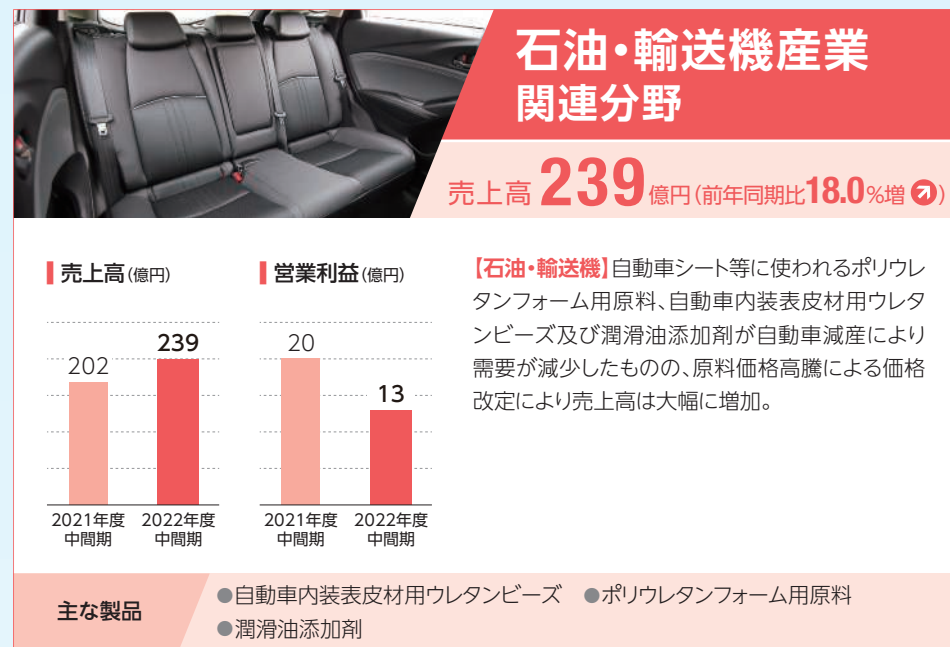
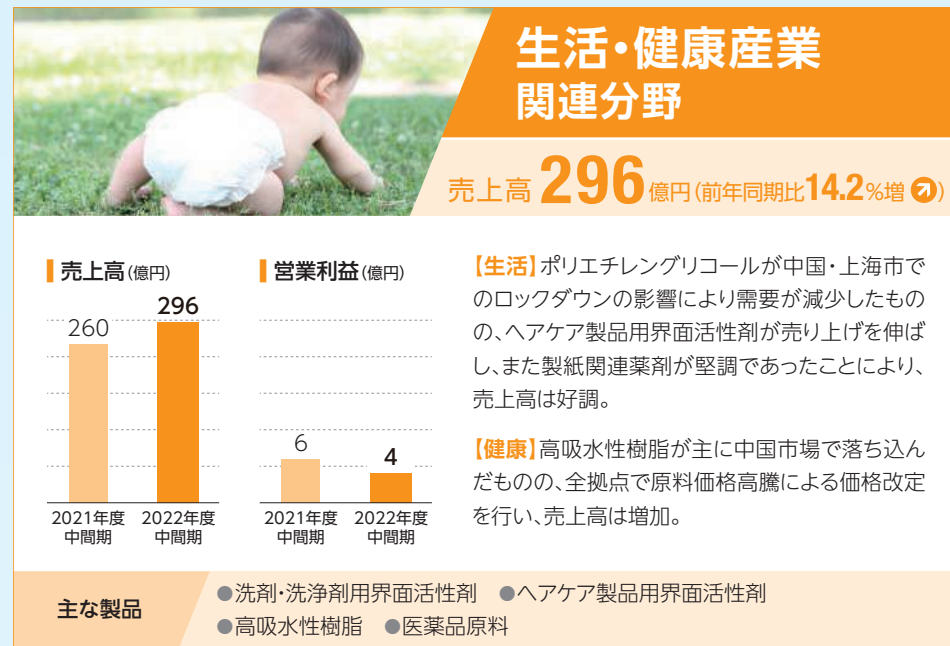
*界面制御といった技術や製品の提供だけでなくとどまらず、人と人をつないだり、化学のちからで化学の枠を越えてソリューションを提供するなど、「あらゆる界面」で活性化を促す役割

株主のみなさまへ

株主のみなさまとの対話の更なる充実を目指し、2022年6月から7月にかけて株主様アンケートを実施しました。貴重なご意見を数多くいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。本冊子の09ページでアンケート結果の概要を報告します。

当社は、ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを大切にしながら、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

セグメント別 営業の概況



※ セグメント別営業利益につきまして、当中間期より、従来各セグメントに配分していた新規事業に係る研究開発費は、各セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。なお、前中間期の営業利益は、変更後の配賦方法により再計算したものを記載しております。

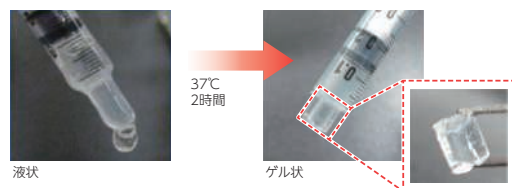
新たな成長軌道への取り組み

当社は、化学のちからで化学の枠を越えたイノベーションにより
環境・社会課題視点での新たな価値の創出を目指しています。

シルクエラスチンを用いた新たな治療法の医師主導治験を開始

●シルクエラスチン

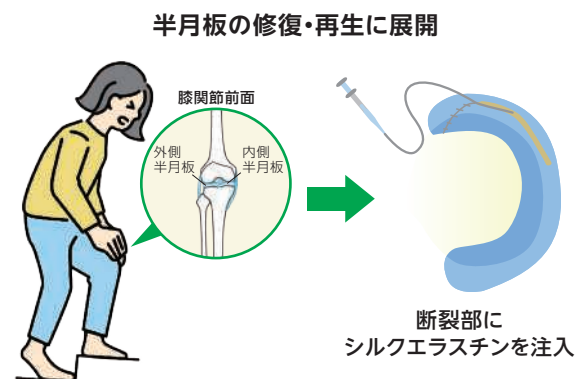
「シルクエラスチン」は、遺伝子組み換えによって作製される人工タンパク質です。細胞親和性(炎症を起こさず皮膚になじむ特性)が高く、かつ弾性(皮膚にハリを与える特性)に富み、細胞の分化・増殖の足場として適していることから様々な再生治療への応用が期待されています。



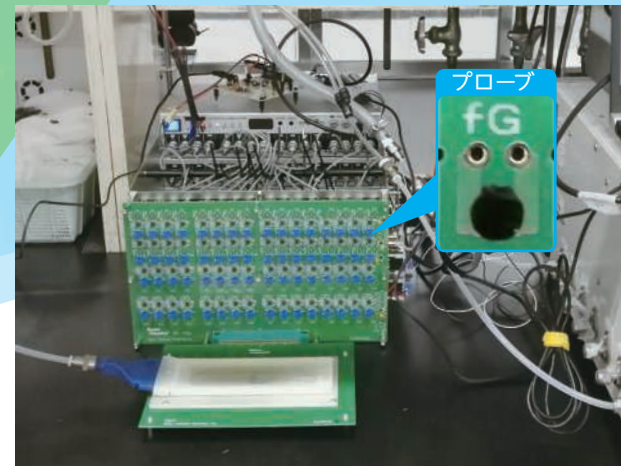
●半月板の修復・再生に展開

2022年8月より広島大学病院において、半月板損傷により生じた半月板縫合手術適応患者を対象に、シルクエラスチンを用いる医師主導治験を開始しています。

半月板は血行に乏しく、一度損傷すると修復されにくいことから、やむを得ない場合は半月板を切除する治療が主流でしたが、シルクエラスチンの適用により、半月板を温存し、半月板を修復・再生する新たな治療法となることが期待できます。本治験の実施後、有効性の確認を行い、医療機器としての承認の早期取得を目指してまいります。



“匂い”を可視化し、新たなソリューションを提供



匂いセンサーの試作機

●匂いセンサー(開発品)

「匂いセンサー」は、人間の嗅覚と同じような働きをするデジタル嗅覚技術であり、界面制御技術を織り込んだ匂い物質検出材料を用いたプローブ(人間の嗅覚細胞に相当する部品)で構成されているのが特徴です。その組み合わせを適切に設計・選択することによって多数の化合物からなる複雑な匂いであっても、高精度でサンプル間の比較・識別を可能にします。

●事業展開の可能性

当社は、匂いに関する様々なニーズに応えられる事業モデルの構築を目指してまいります。



脱炭素社会の実現を目指して

●環境配慮型の新たな高吸水性樹脂を開発

高吸水性樹脂(以下、SAP)は、高い吸水性や保水性を活かして紙おむつをはじめとした衛生用品の吸水材等に使用されています。

当社子会社のSDPグローバル株式会社では、原料の10%及び25%にバイオマス原料(植物由来原料)を使用したSAPを開発し、一般社団法人日本有機資源協会が認定するバイオマスマークを取得しました。

また、SDPグローバル株式会社は、バイオマス原料の使用以外にも紙おむつの新しい回収・リサイクルシステムに貢献する脱水性に優れたSAPを開発する等、

環境負荷低減に貢献する製品の研究開発に取り組んでいます。

今後も当社グループでは、引き続き環境に配慮した製品を開発し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

What's バイオマスマークとは

植物等に由来する資源(バイオマス)を活用し、かつ品質及び安全性が関連する法規や基準、規格等に適合している環境商品の目印。



拡大を目指す 基盤事業



当社の製品は、社会のあらゆる場面に広く、深く浸透し、私たちの暮らしや産業の様々な分野を下支えています。今後も当社の強みである界面制御技術を活かした事業領域の拡大を進め、当社グループらしい価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献します。

静電気による障害を半永久的に防止 永久帯電防止剤

当社の永久帯電防止剤は、様々な静電気トラブルの解決に使用されています。プラスチックに添加して半永久的に帯電を防止する帯電防止剤『ペレストット』『ペレクトロン』は、静電気によるホコリの付着や様々な障害(電子回路の破壊、電化製品の誤作動)、事故(火災、爆発)などを防止する目的で世界中の幅広い分野で活躍しています。

永久帯電防止剤は、近年、電子機器・精密部品の包

装・搬送材料用途を中心とした需要増に加え、防爆用途等、用途の拡大も進んでおり、当社はこれに伴う需要拡大に応えるため、タイの工場に新たに生産設備を立ち上げ、2022年7月から本格稼働を開始しました。

今後の需要動向に応じてさらなる生産設備の拡充を視野に入れるとともに、より快適で安全な暮らしの実現に貢献すべく、新たな市場の開拓を進めてまいります。

帯電防止剤の主な用途



透明容器
(例：サイクロン掃除機のダストBOX)



電化製品
(例：エアコン)



保護フィルム
(例：液晶保護フィルム)



電子部品用トレイ
(例：ICチップトレイ)



防爆製品
(例：粉体用フレキシブルコンテナバック(内袋))

軽くて強い炭素繊維の性能を支える 炭素繊維用集束剤

炭素繊維は、「鉄よりも強く、アルミよりも軽い」と言われる素材であり、スポーツ用途から風力発電用風車、自動車まで、様々な用途で使用されています。

当社の炭素繊維用集束剤『ケミチレン』は、非常に細い炭素繊維を束にする工程で活躍しており、その性能は高く評価され、世界中で多くの炭素繊維に活用されています。

炭素繊維は、風力発電用風車等への使用により世界的な需要拡大が見込まれており、当社はこうした需要拡大に応えるため、『ケミチレン』の生産拠点の追加と能力増強を行います。

当社は、カーボンニュートラルをはじめとした各種社会課題の解決に貢献すべく、技術開発を行ってまいります。

炭素繊維用集束剤を用いて製造される 炭素繊維の主な用途



風車部材



航空機部材



X線診断装置用天板



自動車部材

働きがいを感じる職場環境 づくりを目指して



当社は、すべての従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働くことができる会社を目指し、働き方改革やDEI*推進の取り組みを進めており、「プラチナくるみん」、「プライド指標」のゴールド、「えるぼし」の3つ星等を取得しています。



*Diversity=多様性、Equity=公平性、Inclusion=受容、を意味します

障がい者雇用の理解研修を実施

当社は、障がいをもつ社員が安心して活躍できる環境づくりを進め、さらなる雇用の促進に取り組んでいます。

今年度は、社内研修を実施し、障がい者を取り巻く社会情勢や当社の雇用状況、働きやすい職場環境について理解を深めています。

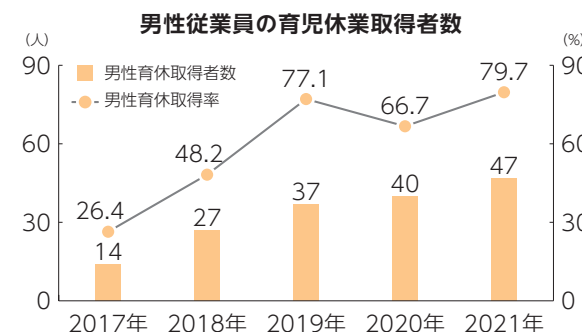
男性従業員の育児休業取得を推進

当社は、女性側に偏りがちな育児や家事の負担を夫婦で分かち合い、女性の就業意欲の促進



につなげることを目的とし、男性従業員の育児休業取得を推進しています。また、育休復職者を支援する社内セミナーでは、パートナーが社外の方であっても同伴を可能とし、復職者の上長も参加して仕事と育児の両立を一緒に考える機会を提供しています。

さらに、これまで以上に育児休業が取得しやすくなるよう育休中の給与支給期間を延長し、28日間の給与を満額支給する制度に改定しました。当社はこれら各種制度を整えることにより、男性の育休取得率向上ならびに取得期間の拡大を後押ししてまいります。



健康経営の推進

当社は、従業員の健康推進を重要な経営課題と位置づけ、社長を筆頭に経営幹部が参画する「健康推進会議」を立ち上げ、会社・労働組合・健康保険組合が三位一体の体制で活動を推進しています。また、全従業員が参画した取り組みとなるよう各事業所に「健康推進チーム」を設置し活動を進めています。

今後も従業員の健康増進を経営的な視点で捉え、職場環境の整備に積極的に取り組んでまいります。



全社的な取り組み内容



- ・活動量計*1の社内販売、費用補助
- ・スムージー、健康に配慮したメニューの提供
- ・健康アプリ*2の導入
- ・健康セミナーの開催
(適正飲酒、禁煙、睡眠、肩こり腰痛、がん等がテーマ)

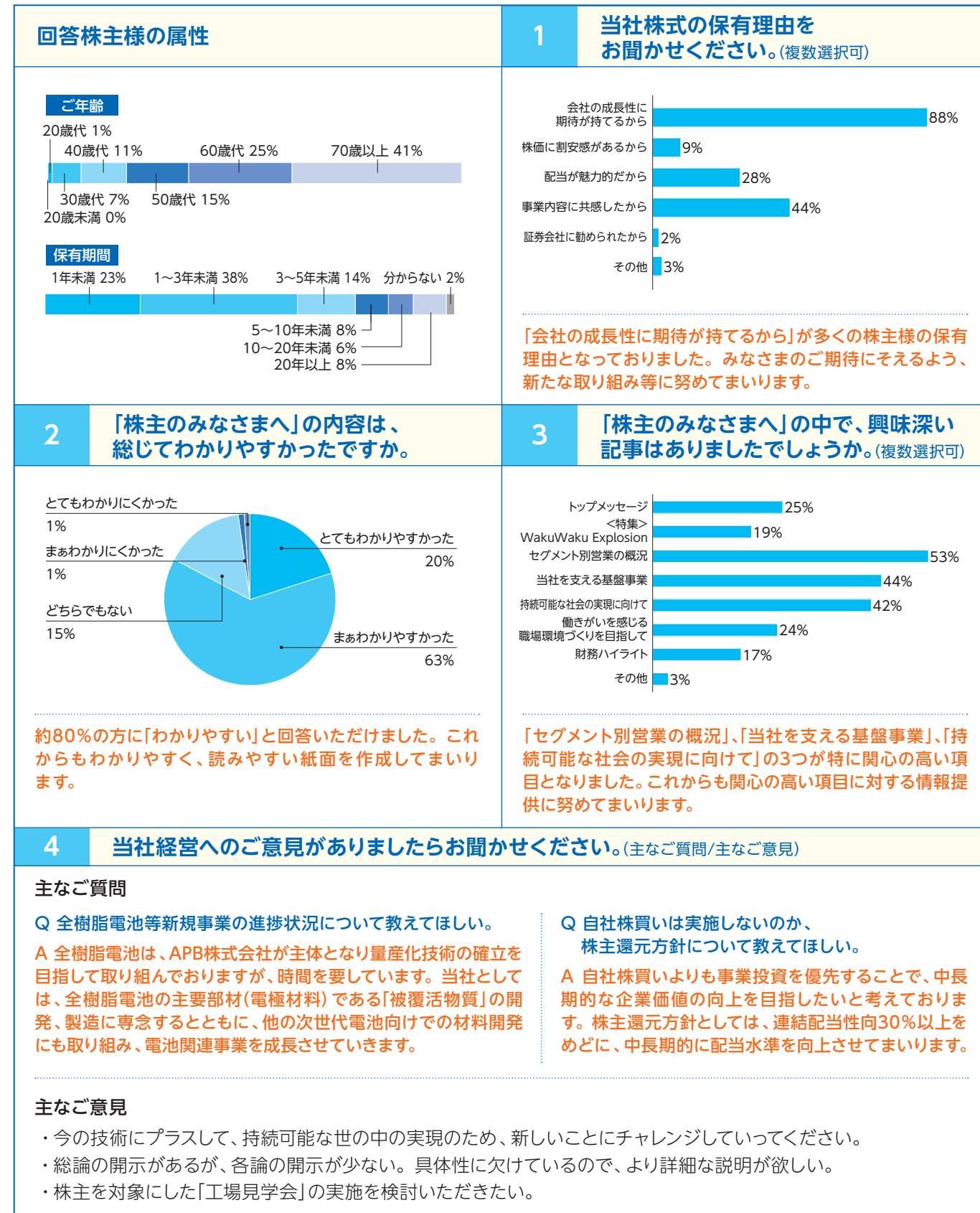
*1 身に着けることで歩数や睡眠時間が記録できる「活動量計」

*2 スマホで食事や睡眠が記録できる「健康アプリ」

株主様アンケート結果の概要のご報告

株主様アンケートの結果の概要をご報告いたします。貴重なご意見を数多くいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

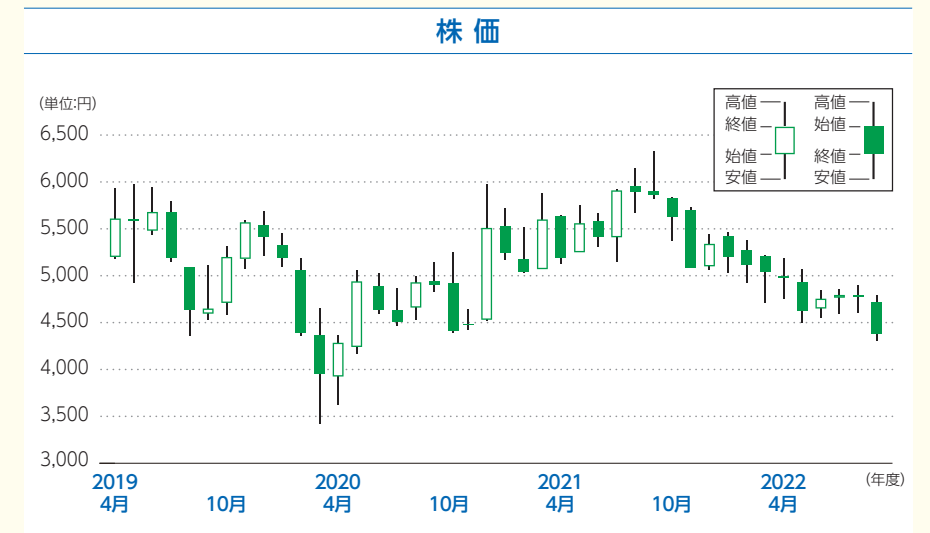
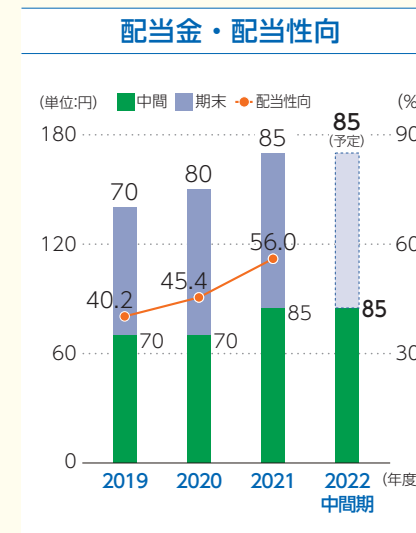
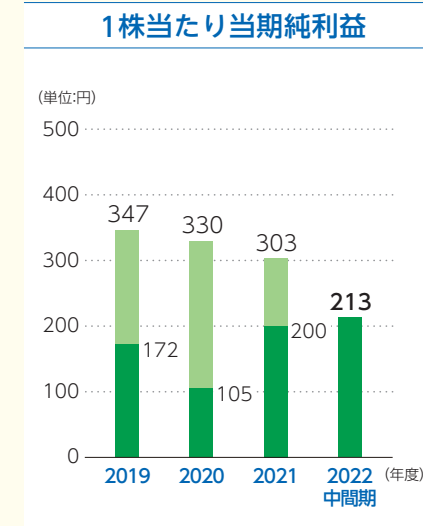
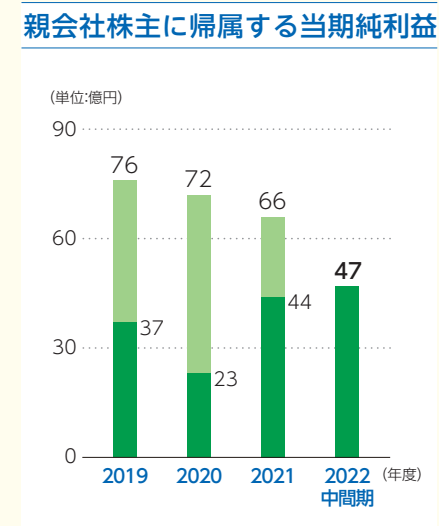
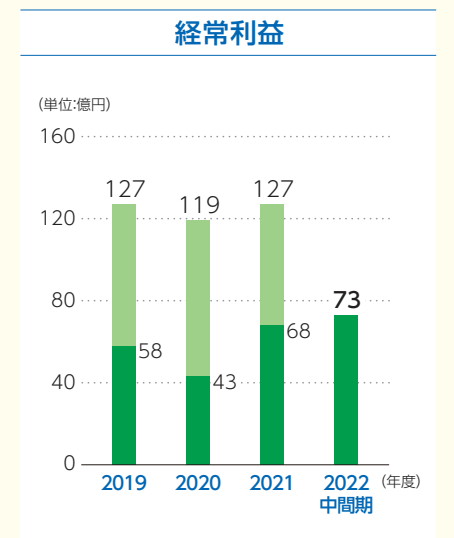
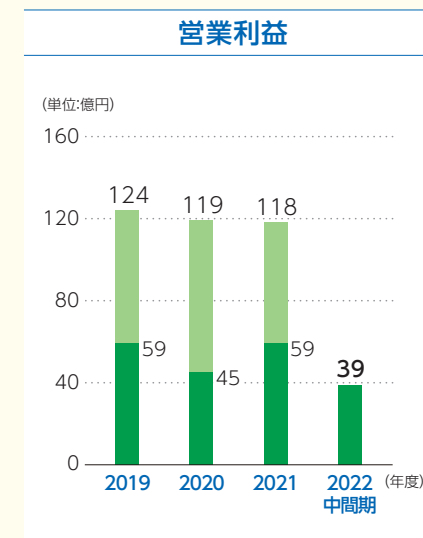
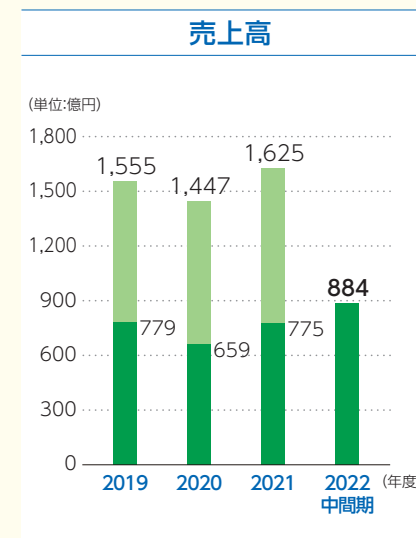
●実施期間：2022年6月18日～7月29日 ●実施方法：第98期「株主のみなさまへ」に添付のQRコード及びURLよりご回答



今回報告いたしましたアンケート結果以外にも、多くのご意見、ご要望をいただきました。いただきましたご意見を真摯に受け止め、当社の経営に活かしてまいります。

財務ハイライト(連結)

■ 中間期 ■ 通期



三洋化成IR情報のご案内

詳しい財務データは、
当社ホームページのIRライブラリーをご覧ください
https://www.sanyo-chemical.co.jp/ir_info/result

三洋化成 IR 検索



会社概要／株式の概況

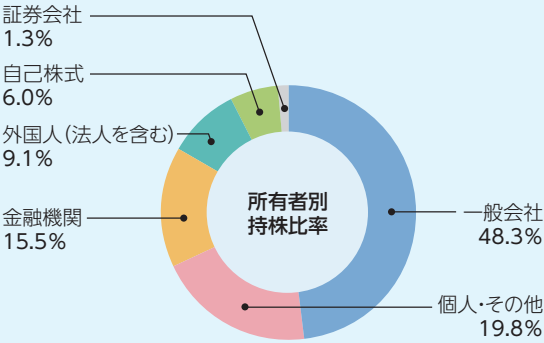
概況 (2022年9月30日現在)

創 立	1949年11月1日
資 本 金	13,051,179,427円
従 業 員 数	1,354名 (連結2,123名)
関 係 会 社	国内9社、海外16社

株式総数及び株主数 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	51,591,200株
発行済株式総数	23,534,752株
株 主 数	11,556名

株主構成 (2022年9月30日現在)



大株主 (2022年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率 (%)
豊田通商株式会社	4,286	19.4
東レ株式会社	3,826	17.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,104	9.5
株式会社日本触媒	1,105	5.0
ENEOSホールディングス株式会社	1,061	4.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	998	4.5
三洋化成従業員持株会	553	2.5
GOVERNMENT OF NORWAY	274	1.2
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	218	1.0
日本生命保険相互会社	154	0.7

(注) 1. 上記のほかに、自己株式1,419千株があります。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

役員 (2022年9月30日現在)

取 締 役 会 長	安 藤 孝 夫	専 務 執 行 役 員	鶴 田 博 之
代 表 取 締 役 社 長 兼 執 行 役 員 社 長	樋 口 章 憲	常 務 執 行 役 員	藤 井 雄 一
代 表 取 締 役 兼 執 行 役 員 副 社 長	前 田 浩 平	常 務 執 行 役 員	須 崎 裕 之
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	下 南 裕 之	常 務 執 行 役 員	奥 喜 之
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	原 田 正 大	執 行 役 員	福 井 正 弘
取 締 役 兼 執 行 役 員	西 村 健 一	執 行 役 員	土 屋 稔
社 外 取 締 役	白 井 文	執 行 役 員	楡 康 治
社 外 取 締 役	小 畑 英 明	執 行 役 員	宮 脇 基 寿
社 外 取 締 役	佐 野 由 美	執 行 役 員	中 野 達 也
社 外 監 査 役 (常 勤)	黒 目 泰 一	執 行 役 員	竹 内 昌
監 査 役 (常 勤)	堀 家 尚 文	執 行 役 員	山 本 祐 介
社 外 監 査 役	加 留 部 淳	(注) 当社は、白井 文氏、小畑英明氏、佐野由美氏、中野雄介氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。	
社 外 監 査 役	中 野 雄 介		

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期 末 配 当 基 準 日	3月31日
中 間 配 当 基 準 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 (電話照会先 郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公 告 掲 載	当社ホームページ https://www.sanyo-chemical.co.jp/
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場 (コード番号 4471)

「三洋化成グループ統合報告書2022」発行のお知らせ

ステークホルダーのみなさまに当社グループのありたい姿「全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるグローバルでユニークな高収益企業に成長する」や、その実現に向けた取り組みをわかりやすく伝え、ご理解をより深めていただくことを目的に、本年度初めて制作したものです。

